

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 39	<p>○日々のその人らしい暮らし ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>一人ひとりのペースを大切にしているが対応する職員によって、起床や就寝などの基本的な時間が変わっていることもある。前回目標とした身だしなみについては継続という点で不足があった。不足を補い、生活リズムを整え心身共に安定できるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 起床や就寝の基本的なリズムが、対応する職員によって時間や方法が変わらず、整えられる 毎日の身だしなみが起床時に整えられ、あたたかい朝食を食べ、気持ちよく一日のスタートが始められるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> ①その人にとって良い、起床や入床のタイミングについて再度確認し共有していく。 ②本人の様子(体調)による調整は必要だが、職員の都合でその時間を変えないことを徹底する。 ③毎朝、更衣や整容を行うとともに、その人の拘り(好みやおしゃれ、化粧など)に対しても配慮する ④気持ちよく整った状態で、あたたかい朝食が毎日食べられる(一日のスタートが気持ちよく始まる) 	8ヶ月 (2月～9月)
2	43 (16)	<p>○排泄の自立支援</p> <p>交換や誘導などが職員の定時対応になっている状況があり、失敗をしてしまった後の次の失敗を減らすための調整ができていない。トイレでの排泄が増え、失敗を減らしていきたい。オムツ使用者は、オムツ種類や交換時間など見直し皮膚トラブルや不快の軽減に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレでの排泄が増える ・失敗や不快がなく清潔が保てる ・オムツやパットの使用量を減らす ・皮膚状態が悪化しない 	<ol style="list-style-type: none"> ①トイレでの排泄に繋がりがしやすい時間帯を把握し促す ②失禁してしまった場合、次は、定時より早めに声掛けや誘導を行い、失敗を繰り返さないようにする。 ③入浴や清拭、陰部洗浄や衣類交換により清潔を保つ ④食事や水分量、運動量などを確認し、便秘に繋がりがしやすい状況がないか確認していく。 ⑤紙オムツの使用状況、排泄チェックの結果などから、3月に一度、使用するオムツの種類や交換時間等は適切かを評価検討する 	8ヶ月 (2月～9月)
3	10 (6)	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>普段の会話の中から利用者の思いや要望を聞くよう努めているが、引き出すに至っていない方も多し。また後の対応に繋がっていくことが少ない。ご家族へはホームからの伝達の方が多く、思いや要望など聴き取れているとは言いがたい。遠慮して言えないなど家族の気持ちを理解したうえで対応をしていく必要がある。</p>	<p>○家族の願いや意見が届けやすい方法や工夫ができる(私たちに伝えやすくなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して気兼ねなく要望や希望などを話せる機会が持てる。(場や尋ね方の工夫ができる) ・本人のことだけでなく、ホームのことを知っていただくためにも運営推進会議への参加家族が増える ・アンケートを実施して活用していく。 	<ol style="list-style-type: none"> ①コミュニケーション技術の内部研修を行い、相手が話しやすい場面づくりや聴き方などを学ぶ ②家族へ本人の様子を定期的に伝え、それに対しての気づき思いなどをその都度聞くようにする。 ④聞き取った内容をミーティングやカンファレンスで共有し今後の対応に繋げる話し合いを持つ ⑤運営推進会議への参加を促していく(出欠だけでなく内容なども伝え興味を持っていただけるように働きかける) ⑥家族アンケートを年1回実施する。 	8ヶ月 (2月～9月)